

奈良の自然、文化や歴史、暮らしを体験 日本文化体験教育旅行プログラム（奈良県橿原市）

【取組概要】

橿原市は、外国人観光客の市内における消費を拡大するため、本市を中心とする奈良県中南和地域におけるインバウンド事業及び滞在型観光を推進しています。

平成 28 年度から、一般社団法人日本の寺子屋に業務委託し「日本文化体験教育旅行プログラム」により、外国人学生を対象とした日本文化体験事業に取り組んでおり、同事業においては、橿原市内だけでなく近隣市町村への周遊も行い、広域的な観光振興を実現するものです。



【取組推進のポイント】

参加学生らが橿原市長を表敬訪問し、市担当者から市政・歴史を学びました。その後、橿原神宮参拝、飛鳥寺、飛鳥資料館見学や、現在も江戸時代そのままのたたずまいと情緒を残す今井町の散策やお茶席作法、忍者修行などを体験することで、中南和地域ならではの自然、歴史や文化、街並みなど日本の暮らしを体験することができます。



【課題】

散策を行う今井町では、外国語（英語、中国語、韓国語）の案内版設置や Wi-Fi 環境の整備、通訳案内の整備等の受入整備がされていますが、認知度の向上と実際に外国人観光客を誘致することが課題となっています。

【将来展望】

本事業に参加した学生が、後にこの思い出により友人や家族と再訪のきっかけになればと考えています。また、参加した学生の撮影した写真等の SNS による情報発信を期待します。